

—第2回(2月)定例会—

本庁舎移転(田沢湖から角館へ)の条例改正案が否決される

令和6年 第2回定例会が2月26日から3月19日まで23日間の会期で開催され、令和6年度当初予算などの予算関係27件、条例関係20件、その他4件、人事関係2件、諮問関係2件、議員提出議案3件の計58件が審議され、議会初日の提出案件はすべて可決・同意されました。最終日に本庁舎移転の条例改正案が提出されましたが、2/3以上の賛成が得られず否決になりました。

■第2回定例会で審議された条例関係等議案

- ◇仙北市手数料条例の一部を改正する条例制定について
- ◇総務部、企画部及び教育委員会に係る公共施設における使用料の適正化に伴う関係条例の整備に関する条例制定について
- ◇市民福祉部に係る公共施設における使用料の適正化に伴う関係条例の整備に関する条例制定について
- ◇観光文化スポーツ部及び農林商工部に係る公共施設における使用料の適正化に伴う関係条例の整備に関する条例制定について
- ◇仙北市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市基金条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市市民バス条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市多世代交流施設条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市学校林に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市小中学校条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市水道事業等の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市病院事業会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市高齢者生きがい通所事業使用料条例を廃止する条例制定について
- ◇仙北市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例を廃止する条例制定について
- ◇市道の変更認定について
- ◇市道の認定について
- ◇上桧木内辺地に係る公共的施設の総合整備計画策定について
- ◇仙北市監査委員選任につき同意を求めることについて
- ◇仙北市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて
- ◇人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(2名)
- ◇仙北市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例制定について【否決】
- ◇財産の取得について(小学校教科書・指導書購入)
- ◇議員提出議案第1号 仙北市議会政務活動費の交付に関する条例制定について(年額18万円を一括して交付)
- ◇議員提出議案第2号 仙北市議会基本条例の一部を改正する条例制定について
- ◇議員提出議案第3号 最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書の提出

議決結果/議員賛否

令和6年 第2回 仙北市議会定例会(招集日:令和6年2月26日 最終日:3月19日)

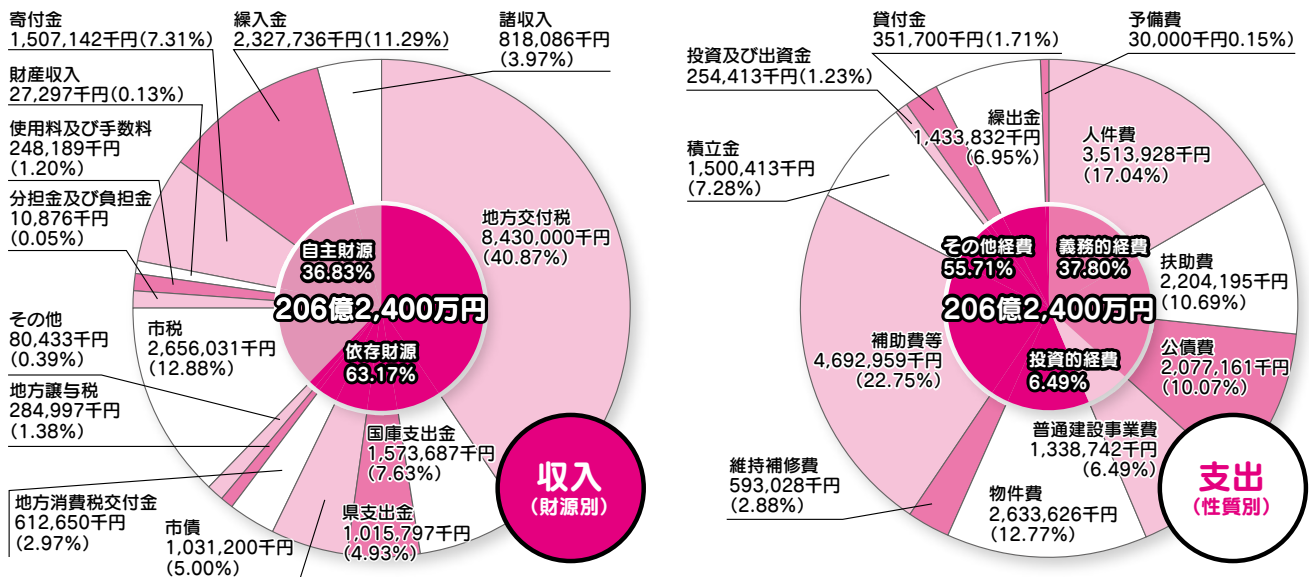
凡例: 賛→賛成 反→反対 退→退席 欠→欠席(議長は法律に定める特定のケース以外では表決をしないことになっています)

議案番号	件 名	会派及び氏名	議決月日	議決結果	蒼生会					公明党	共産党	無会派							
					小林幸悦	真崎寿浩	高橋輝彦	武藤義彦	青柳宗五郎			門脇晃幸	熊谷一夫	平岡裕子	高久昭二	荒木田俊一	田口寿宜	澤田雅亮	中村和彦
議案第 8 号	仙北市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について		3/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第22号	令和6年度仙北市一般会計予算		3/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第24号	令和6年度仙北市国民健康保険特別会計予算		3/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第36号	令和5年度仙北市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）		3/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第51号	仙北市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例制定について		3/19	否決	特別多数議決（無記名投票 10 対 6）														
議案第53号	令和6年度仙北市一般会計補正予算（第1号）		3/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	反	反	反	賛	賛	反	賛

※全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載しておりません。

令和6年度 一般会計当初予算の内訳 206億2,400万円

令和6年度の当初予算は、コロナ禍からの着実な経済回復を実感する中で、「人口減少」「少子高齢」に代表される喫緊の課題に立ち向かい、市政理念の第一義「幸福度NO.1」の達成に向けて歩みを加速させることに重点を置いた予算との説明がありました。



令和6年度 一般会計当初予算の主な事業

令和6年度の事業は、直面している人口減少などの危機的状況を克服し、未来に繋げる一歩とするため、子育て支援・少子対策、個性を生かした地域づくりや関係人口の拡大に重点を置いた予算になっております。具体的には、こども家庭センターの新設、全園児の保育料、主食・副食費の無償化、医療 DX 事業、インターナショナルスクール誘致事業や移住体験事業などを計画しています。

事業名	事業費(千円)	事業の概要
防災行政無線維持管理費	122,762	現行設備の維持管理と令和7年度からの新システムの導入・構築を行う
政策支援アドバイザーの委嘱	3,000	田口市長の政策全般について、立案＆実施支援を行う政策支援アドバイザーへの報酬
内陸線への補助金と利活用事業費負担金等	91,714	内陸線の運行維持の補助金や連携協議会の負担金、愛護会、駅前維持の支出
移住体験推進事業	9,052	移住体験住宅を設置し移住希望者に実際に住んでいただきイメージを醸成する
インターナショナルスクール誘致事業	28,929	豊富な観光資源やアクセスの良さを生かし外国人子女等の定住や交流人口を増やす
地域運営体活動推進費交付金	20,340	地域での課題解決に向け地域運営体への支援を継続する(昨年度比 △ 234 万円)
育児支援金給付事業費	2,425	1 歳児 & 2 歳児に 15,000 円を現金支給し子育て世帯を支援する
出産準備金給付事業	7,536	妊娠届出時5万円、出産届出時5万円の合計10万円を支給し子育て世帯を支援する
あきた出産おめでとう給付金支給事業	1,500	出生届出を行った家庭に出産祝金として2万円を支給する
こども家庭センター運営事業	3,542	「こども家庭センター」を開設し、妊娠から18歳までの支援をワンストップ化
すこやか子育て保育料助成事業	37,244	0歳児から全園児の保育料を無償化する
保育施設等主食費無償化事業	1,929	3歳児から有償だった主食(米飯)を全園児無償化する
MRI 無痛乳がん検診補助金	1,730	無痛MRI乳がん検診の半額(11,000円)を補助する
多面的機能支払交付金事業	175,643	農地・農業用施設の保全や地域環境の保全等の共同活動への支援
有害鳥獣駆除事業	7,610	有害鳥獣の被害防止事業。特に急増するクマの対応策を強化する
冬期交通対策費	483,963	冬期の除雪費 ※昨年に続き当初予算に計上した
スクールバス購入事業	12,642	令和7年4月の角館小学校と白岩小学校の統合に伴うバスの購入(29人乗り)
学校施設環境改善交付金事業	30,906	小・中学校の和式便器を洋式便器に改修する(洋式化60%以上を目指す)
特別会計及び企業会計への補助金	2,123,977	病院事業へ8億1,271万円、下水道事業へ6億5,000万円、水道事業へ1億5,800万円など
令和6年度一般会計補正予算(第1号)庁舎整備事業費	54,104	旧角館総合病院のアスベスト調査費及び解体・改修の実施設計に係る費用

一般会計市債(借金)残高	209億3,014万円	令和5年度末は219億3,302万円だったので10億288万円減少
財政調整基金(貯金)残高	2億8,892万円	当初予算に除雪費を計上(4億8,396万円)し残高が3億弱となっている

ふるさと納税寄付額26億円超に～災害代理寄付金3千万円石川県に送金～

令和5年度一般会計補正予算（第15号・第16号・第17号）の主な事業

ふるさと仙北応援基金積立金	1億2,000万円	寄付見込み額を増額（令和5年度 合計で 26 億 2,800 万円）
ふるさと納税ふるさと便事業費	3,023万円	ふるさと納税による災害代理寄付金分を石川県に送金する
障害者自立支援給付金	2,142万円	医療・介護給付費及び補装具の申請件数が当初見込みを上回り追加
教育・保育施設給付費	7,043万円	保育施設へ入園する子どもの人数が当初見込みを上回るため不足分を追加
生活保護費	1,214万円	実績見込みによる不足分の追加（令和5年度 合計 4 億 5,221 万円）
新型コロナワクチン接種体制確保事業費	5,802万円	令和4年度事業の国庫負担金清算に伴う返還金の追加
新型コロナワクチン接種対策事業費	4,811万円	令和4年度事業の国庫負担金清算に伴う返還金の追加
病院事業会計補助金	5億2,065万円	医師確保経費や物価高騰への一般会計から病院事業への補助金の増額（一般会計からの補助金合計 13 億 5 千万円）
市民浴場管理運営費	980万円	東風の湯の源泉を吸い上げるポンプ修繕工事費（6月1日から再開予定）

本会議・予算常任委員会での主な質疑

防災行政無線を今後はどうしていくのか

質問 令和6年度の維持管理費が例年より1億円以上多いが、新しいシステムを導入するのか。また、現在の屋外のスピーカーや戸別受信線機はどうなるのか。

答弁 現在の防災行政無線（屋外スピーカー、戸別受信機）は、令和7年3月末で廃止する。令和7年4月から、新たなシステムに全面移行する。まずは、仙北市公式 LINE で防災情報を発信するので、市民に仙北市公式 LINE への加入を促進する。仙北市公式 LINE を受信できない世帯には、新たに戸別受信機を貸与し、防災情報を放送する。令和6年度の予算は、新システムの構築経費と新たな戸別受信機の購入費である。

移住体験推進事業とは

質問 令和6年度の新規事業である移住体験推進事業の具体的な内容とスケジュールを伺う。

答弁 仙北市への移住希望者向けに、実際の生活に近い形で移住を体験できるための住宅を整備して、2泊3日から1週間程滞在していただくための事業に905万2千円の予算を計上し、8月頃からのスタートを予定している。

インターナショナルスクール誘致事業について

質問 令和6年度は3ヶ年計画の2年目として、2,892万9千円の予算を計上しているが、具体的な事業内容と候補地としての遊休施設とは何処を指すのか伺う。

答弁 学校運営法人や事業者パートナーに向けたニーズや市内で不足するサービスの調査や日本語に不慣れなインターナショナルスクール生が言語の壁を意識せずに市内を移動できるシステムの構築など、誘致活動を企画運営する業務を委託する。また、市内の調査場所として、スイス村跡地、ハートハーブ、生保内下高野の原野、田沢湖駅裏の空き地、市民会館の隣接地、西長野交流センターの6箇所を調査した。

東風の湯の営業再開について

質問 1月11日から休業している東風の湯のポンプの修繕工事費とのことだが、具体的な工事内容と修繕に至るまで何故これほど日数がかかったのか伺う。

答弁 調査の結果、源泉坑内内壁から発生した錆と温泉成分が結合したスケールを大量に吸引したことによるポンプの破損が原因であり、源泉井戸坑内の洗浄とポンプ等に大量に付着したスケールの除去と修繕である。日数がかかったのは、ポンプを設置した会社が廃業し、新たな業者選定と原因の究明に苦慮したからである。

仙北市役所の位置を変える条例改正案（田沢湖から角館へ）が否決される！

～賛否両論 5名の議員が討論／旧角館総合病院解体と管理棟改修の実施設計の補正予算は可決される～

賛成討論

- ①仙北市の現業機関が角館庁舎一つにまとまっている現在、市長室や総務企画部門が田沢湖庁舎にあることのメリットはない。合併事業の総仕上げとして、未来を見据えたコンパクトで持続可能な行政機構となることを強く希望する。
- ②昨年7月の豪雨の際は、分庁舎であるが故の意思疎通が取れず、指揮命令の遅延が生じていた。防災・減災の観点から市民の命を守ることを最優先に考えた場合、やはり庁舎の集約が必要である。
- ③今後職員削減が進むことで分庁舎方式を維持するための人事配置そのものが困難になる。職員が集結し、部局横断的な体制整備が必要である。

反対討論

- ①不安を抱える多くの市民がおり、もっと丁寧で細かな説明と市民の意見を聞いて欲しい。また、移転後は職員数や来庁者数が大きく減少し、飲食業をはじめとする多くの事業者へのダメージが大きい。
- ②多くの市民が望んでいることは、庁舎機能の移転・集約ではなく、新たな借金をせず、まだ使える庁舎を使う現在の分庁舎方式の下、各地域で同じサービスを受けながら安心して暮らせることではないか。

※無記名投票の結果 賛成 10 反対 6 で否決（この条例改正には 2/3 以上の賛成が必要）